

INTERVIEW

引き継ぐ大切にしたい

私は南乳児保育所ができた年に公立保育所の保育士として働きだし、閉所とともに所長として定年を迎えたので保育士人生の中でも関わりの深い保育所でした。当時保育していた子が親になって子どもを預けに来られたことはうれしい思い出です。

開所当時の南乳児保育所周辺は畑が多く、目の前は砂利道でしたが次第に民家が建ち、住宅地になっていきました。そういった目に見える変化だけではなく、保育も変化し、保育士が声をかけて遊びを教える保育から子どもの興味や関心を大切に保育に変わり、それが浸透してきています。一方で、変わらないものもあり、子ども達は成長の中でいろいろなことを考えていて、一人ひとりを大切に育てていきたいという思いは変わっていません。今後、子育ての環境は変化し、保育士が移り変わっていても、良い保育が次の人に引き継がれて、舞鶴市の保育環境が公立民間どこでもより良いものになればと思います。

南乳児保育所最後の所長  
浜谷 久美子さん



INTERVIEW

変化は悪いことだけじゃない

南乳児保育所が閉所したのは娘が1歳児のときでした。上の子ども通わせていたこともあり、統合してきれいになると分かっていたにもかかわらず、南乳児から知り合いのママ友達や先生たちも移動したので、一番心配していた子どもの環境の変化も少なく、不安はありませんでした。施設の規模が大きくなって先生が増えたため、先生の名前が覚えられないということもありますが、園舎も広くなり海が見える自然での散歩

など環境が良くなったと思います。

南乳児保育所の閉所で  
うみべのもり保育所に移った  
池田八重子さんと美弥ちゃん



平成 27 年ってどんな年？

◆烈車戦隊トッキュウジャー放送◆仮面ライダードライブ放送◆Go!プリンセスプリキュア放送◆8.6秒バズーカが大ブレイク◆ランニングマンが大流行◆東京ヤクルトスワローズが14年ぶりにセリーグ優勝◆山田哲人、柳田悠岐がトリプルスリー(打率3割・30本塁打・30盗塁)を達成。トリプルスリーが流行語大賞になる。

うみべのもり保育所

3保育所が統合して完成。定員は150人で平成27年4月に開所。クラスは「はな(0歳児)」「ほし(1歳児)」「にじ(2歳児)」「うみ(3歳児)」「そら(4歳児)」「やま(5歳児)」がある。名前の由来は自然から。



# さよならから 受け継ぐ 3所の意思

東保育所は昭和24(1949)年、東乳児保育所は昭和42(1967)年、南乳児保育所は昭和50年(1975)からの長い歴史に終止符を打ち、平成27(2009)年4月から統合保育所として「うみべのもり保育所」が開所した。

平成の  
子育て

- 2年 文化公園プールが完成
- 5年 乳幼児医療費の助成 自己負担が200円(1か月)
- 14年 3子目から保育料が無料に
- 16年 中総会館に子育て支援基幹センターオープン  
地域放課後児童クラブの設置
- 18年 出産育児一時金が35万円に
- 24年 こんにちは赤ちゃん事業を開始
- 27年 子育て交流施設「あそびあむ」オープン
- 28年 「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」を策定。本市の乳幼児教育の質向上に向けた取り組みが文部科学省のモデル事業に選定  
「子どもなんでも相談窓口」の開設



東保育所



平成の公立3保育所の統合



東乳児保育所



南乳児保育所



▲与保呂小と合同で田植え(左上)、潮路通り沿いの旧園舎(左中)、園庭でイチヨウを舞わせて遊ぶ(左下)、らぼーる裏手の旧園舎(右上)、プールで水遊び(右中)、倉梯第二小の近くの旧園舎(右下)

あなたが子どものころに流行った遊びは何だろうか。平成の子ども達はバトルえんぴつ、ハイパーヨーヨー、トレーディングカード、ベイブレード、ほかにもたくさんのもので遊んだ。しかし、遊びが変化しても、根底にあるのは、友達と一緒に遊べたり共通の話題で盛り上がりたりする「楽しい気持ち」だったと思う。

遊びに変化があるように、舞鶴の子育て・保育の環境も変化してきた。大きな変化といえば東・東乳児・南乳児保育所の統合だろう。3保育所の老朽化をきっかけに進められた統合保育所構想。保護者から乳児保育所は0〜2歳児しか入所できず、3歳になつたらまた別の保育所を探さなければならぬこと、年齢制限のため兄弟姉妹が同じ園に通えないという声が聞かれ、市民アンケートを実施。「兄弟で通える」「自然に触れることができる」「駐車場が広い」という皆さんの思いを叶えるべく、現在のうみべのもり保育所の場所と対象年齢、定員規模になった。年齢を超えて子ども同士がつながるよう遊戯室を囲み、保育室を配置した。また、自然をテーマに木の温もりを感じられる設計、木製のいす・机・棚などを採用するなど工夫をこらし、平成25年12月から始まった建設工事は27年3月に完成し、同年4月に開所した。

舞鶴の子育ての環境はこれからも変わっていくだろう。しかし、その変化の根底にあるのは「より良くしたい」という思いである。遊びの根底に「楽しい気持ち」があるように。そういった子育て環境の変化は子どもの成長のようこれからも温かく見守りたいものだ。